

科目	保健体育科教育法Ⅲ	担当	高須 博	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

これまで積み上げてきた保健体育科教育法Ⅰ・Ⅱを踏まえ、教育課程の改善に対応した保健体育科教育のあり方を研究する。特に、体育理論と保健の内容について学ぶとともに、授業づくり並びに指導法を研究する。併せて、中学校「保健体育」及び、高等学校における科目「体育」と科目「保健」の学習指導案作成の基本を身に付ける。

【履修注意】

体育及び保健、体育理論の授業づくりと指導法を学びながら、対象となる生徒の動きや反応を意識しながら生徒の目線に立って授業に臨み、教材研究のための資料の収集と整理を積極的に行うこと。

本科目は、教職課程(保健体育)の必修科目であり、教職課程を目指す者のみ必修である。

全出席すること。1/3以上の欠席は単位を認めない。(遅刻2回は、欠席1回とする)

【評価方法】

定期試験、毎授業のレポート・課題、学習指導案の内容によって評価する。

【試験について】

筆記試験

再試験対象者の条件: 不合格者のうち、課題レポートがすべて提出され、筆記試験が40点以上の者

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針である。本科目は2単位科目なので、90分の講義に対して90分以上の自宅学習(予習、復習)が必要である。その内容を講義の都度指示するので、次の講義時に提出する。

【教科書】

書籍名: 教師を目指す学生必携「保健体育科教育法」 著者: 杉山・高橋・園山 出版社: 大修館書店

【参考書】

中学校並びに高等学校学習指導要領解説 保健体育編 著者: 文部科学省
中学校教科書「保健体育」大日本図書、高校教科書「新保健体育」大修館書店

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	オリエンテーション	受講上の留意事項 既習内容の確認と復習
2	教育課程改善と体育・保健体育科	新教育課程の趣旨と学校体育及び保健分野の特徴
3	「武道」の学習内容 1	格技から武道 武道の必修化 伝統性と文化の理解
4	「武道」の学習内容 2	柔道・剣道の特性と内容 中学校における武道指導 指導計画
5	「ダンス」の学習内容	ダンスの特性と内容 中学校におけるダンス指導 指導計画
6	「体育理論」の学習内容	体育理論の内容構成 スポーツの歴史と文化 スポーツの多様性
7	体育の指導計画 1	年間計画 単元計画 内容と配当時間
8	体育の指導計画 2	1単位時間の指導計画 教材研究 指導と評価の観点
9	保健学習の変遷と目標	保健学習の変遷 保健学習の目標 ヘルスプロモーション
10	保健の学習内容	小・中・高等学校における学習内容とねらい
11	「保健分野」の指導計画	中学校「保健分野」の目標と内容 単元計画 指導内容
12	科目「保健」の指導計画	高等学校科目「保健」の目標と内容 単元計画 指導内容
13	保健学習指導のための教材づくり	副教材 実物教材 自作教材 メディア ノートづくり
14	保健学習の評価	保健評価の観点 多様な評価 評価規準
15	学校における体育指導と部活動	総則と体育・運動部活動 運動部活動の意義 教師の役割
16	まとめ・期末試験	15コマの復習・総まとめと試験の実施